
長岡版広域道路ビジョン

＜参考資料＞



1 関連計画について【国】

(1) 日本海・太平洋2面活用（グランドデザイン2050、東北圏広域地方計画）

■課 題 <グランドデザイン2050>

- ・地域の活力が低下する中、人々の暮らしをどう守っていくか？
- ・我が国がどのようにして引き続き成長を維持していくのか？
- ・国民の安全をどのように確保していくのか？

■目指すべき姿

- ・従来の行政区分にとらわれない広域的な発想！
- ・各地域が主体性を持って、個性を発揮！
- ・地方の多様性が大都市を支え、大都市のイノベーションが地方に還流され、相互に「対流」！
- ・地域の活力を高め、東京一極集中から脱却！
- ・広域ブロックを超えた日本海側と太平洋側の連携
- ・コンパクトな拠点とネットワークの構築

■課 題 <東北圏広域地方計画>

- ・東日本大震災からの復興と災害対策の強化、克雪・利雪・親雪の推進
- ・産業の活性化、競争力ある産業の振興、国際交流・連携の強化
- ・循環型社会の構築、豊かな自然共生社会の実現、美しい国土や歴史文化の保全と活用
- ・人口減少社会・少子化及び高齢化への対応、若者の定住、人材育成

■目指すべき姿

- （広域連携プロジェクトの内、「日本海・太平洋2面活用によるグローバル・ゲートウェイ機能強化プロジェクト」）
- ・地域の強みを活かした物流体系の構築……極東ロシアと欧州を結ぶシベリアランドブリッジへ接続する日本海横断航路の開設
- ・地域経済を支える安全で利便性の高い物流基盤の構築……主要な都市や生産拠点と港湾・空港を結ぶ高規格幹線道路等の格子状骨格道路ネットワークの形成
- ・グローバル化に対応した物流機能の強化……ビジネスしやすい環境整備やMICEの誘致

日本海側・内陸部の軸等の活用による代替性の確保

目指すべき姿

- ・日本海側の軸などの活用による太平洋側との代替性の確保



資料：グランドデザイン2050/パンフレット（H26年7月）

第1回懇談会ご意見

- ・首都圏・中京・関西圏の大規模地震を想定すると、広域道路の空白地をつなぐ道路ネットワークは、緊急医療の面でも必要。災害対応の面でも必要。
- ・会津若松、日光、那須などにつながる道路があると夢が広がる

目指すべき姿

- ・広域ブロックを超えた日本海側と太平洋側の連携！



日本海・太平洋2面活用の強化

- 高規格幹線道路等 開通済
- 高規格幹線道路等 開通予定
- 新幹線



資料：東北圏広域地方計画パンフレット（平成28年7月、東北地方整備局）

(2) 首都圏との広域連携プロジェクト（首都圏広域地方計画における広域連携プロジェクト）

■課 題 <東日本地方創生回廊とスーパー・メガリージョンとの連携拠点創出プロジェクト>

- ・大宮駅及び周辺地区の機能強化の検討
- ・空港アクセス機能強化の検討・防災拠点の検討
- ・東日本における地方創生回廊づくりの具体的方策の検討
- ・リニア整備の効果を見据えた具体的方策の検討

■目指すべき姿

- ・北海道・東北・**北陸・信越**・北関東の企業とスーパーメガリージョンの企業との**ビジネスマッチング、販路拡大**
- ・「歴史・文化」「自然」「温泉」「食」等多彩な地域資源を活用し、「**日光・会津・上州歴史街道**」等の新たな広域観光周遊ルートを創出

■課題＜太平洋・日本海横断高競争力製造業ベルト創出プロジェクト＞

- ・拠点港である茨城港と連携し、日本海側の港湾の活用を促進
- ・自動運転に向けた実証的な取組の積み上げが必要
- ・広域交通ネットワークを活かした信越地域の製造業と北関東の製造業との連携

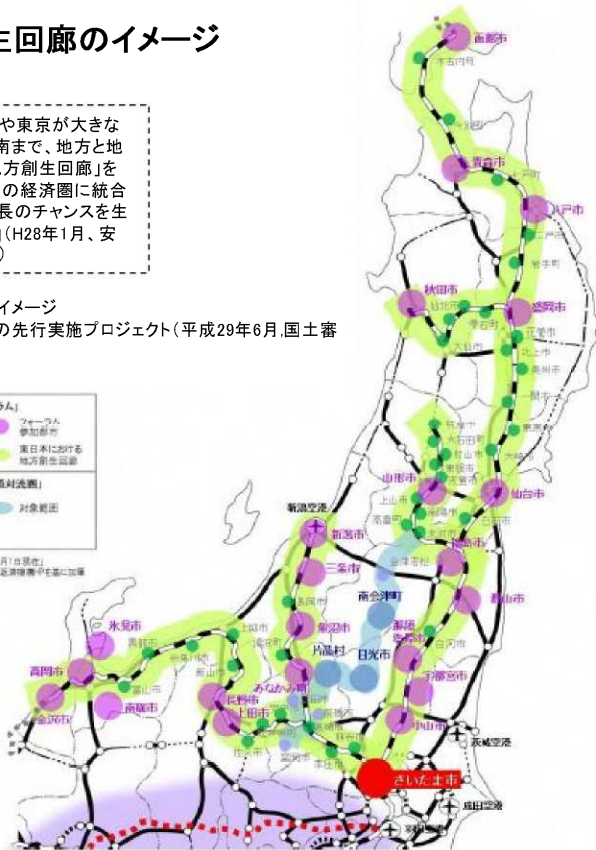
■目指すべき姿

- ・高速道路と直結した**港湾の有効活用**
- ・首都圏に近接する**北関東の製造業と信越の産業との連携**による「**北関東信越地方創生回廊（仮称）**」の実現
- ・自動運転の実用化等による**物流コストの大幅な削減、ドライバー不足の克服、国際競争力の強化、環境負荷の低減**

東日本地方創生回廊のイメージ

地方創生回廊：「大阪や東京が大きなハブとなって、北から南まで、地方と地方をつないでいく。「地方創生回廊」を創り上げ、全国を一つの経済圏に統合することで、地方に成長のチャンスを生み出してまいります。」(H28年1月、安倍総理施政方針演説)

図 東日本地方創生回廊のイメージ
資料：首都圏広域地方計画の先行実施プロジェクト（平成29年6月、国土審議会報告）



太平洋・日本海横断軸のイメージ



図 太平洋・日本海横断軸のイメージ
資料：首都圏広域地方計画の先行実施プロジェクト（平成29年6月、国土審議会報告）

(2) 中越地域と関連地域との連携（広域都市計画マスタープラン）

■課 題 <新潟県>

- ・人口減少と高齢化が進む中、長岡市と柏崎市に集積する高次都市機能の維持・充実
- ・活力ある産業の創出やさらなる高度化を支援するため、産業の集積を支える都市基盤の強化
- ・伝統産業や行事などの地域資源を活用した交流の拡大
- ・本圏域特有のレクリエーション資源を活かした観光・産業振興や、都市と農村の交流による地域活性化
- ・災害に負けない安全・安心な暮らしの確保

■目指すべき姿

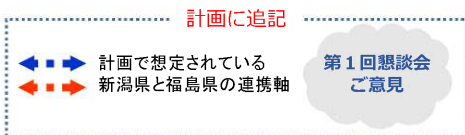
- ・高次都市機能（総合病院、大学、芸術・文化施設、スポーツ・コンベンション施設など。）の充実による中越都市圏の形成
- ・被災経験を活かした安全・安心に暮らせる都市形成
- ・地域資源の保全と活用

■課 題 <福島県>

- ・地域の産業振興や企業誘致の支援
- ・積雪・寒冷など自然的障害の克服
- ・既存施設の効果的・効率的な活用
- ・子どもからお年寄りまで安心して暮らせる生活環境の確保
- ・景観や環境に配慮した観光や定住・二地域居住の支援
- ・環境への負担の低減

■目指すべき姿

- ・産業・観光、救急医療などを支える信頼性の高い幹線道路ネットワークづくり
- ・過疎・中山間地の医療、福祉等基本的生活環境の維持改善を支援する道づくり
- ・地域文化を運ぶ等道路が持つ多様な役割を活かしながら、様々な地域ニーズに対応して、魅力ある地域づくりを支援する道づくり



- 第1回懇談会ご意見
- ・長岡を中心に、小千谷、柏崎、十日町、魚沼までネットワークを広げ、連携した観光施策が重要
 - ・いろんな体験をしにきた観光客がネットワークを軽く移動できる道路ネットワークが必要

- 第1回懇談会ご意見
- ・雪に不慣れた観光客が安心して運転できる道路
 - ・大雪でも通行止めにならず、安心・安全、快適に通行できる道路

- 第1回懇談会ご意見
- ・日光や海につながるロマンを感じられるネットワーク
 - ・観光客が動き易い道路ネットワーク
 - ・医療の面で、会津方面とつながる道路があると良い
 - ・栃尾の鉄砲隊が会津に教えを乞うたという歴史的なつながりがある

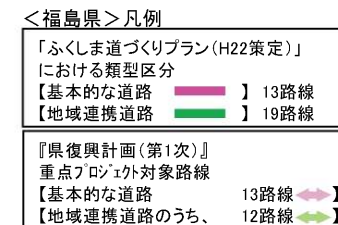
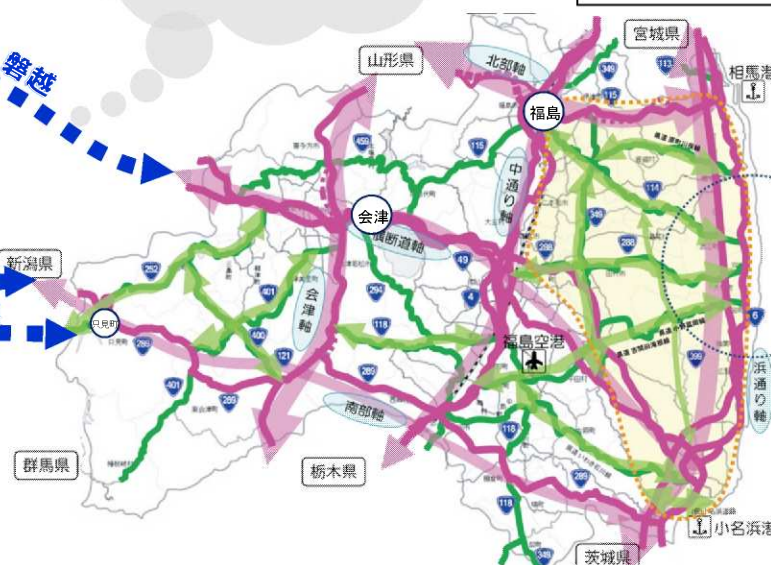


図 新潟圏域、中越圏域、魚沼圏域、上越圏域の広域圏計画
資料：中越圏域広域都市計画マスタープラン（H29年3月）



(3) 長岡市と周辺地域との連携（長岡都市圏交通円滑化総合計画）

■課 題

- ・幹線道路ネットワークの見直し、整備の選択と集中
- ・渋滞対策、交通安全対策、道路防災・雪害対策、自転車交通対策
- ・路線バス利用のサービス向上、鉄道利用のサービス向上
- ・自動車利用の効率化と抑制

■目指すべき姿

- ・長岡市と見附・小千谷・出雲崎等の地域間の連携強化
- ・信濃川渡河部の渋滞解消
- ・安全で快適な住みよいまちづくりの実現
- ・過度な自動車利用の抑制



期待される効果

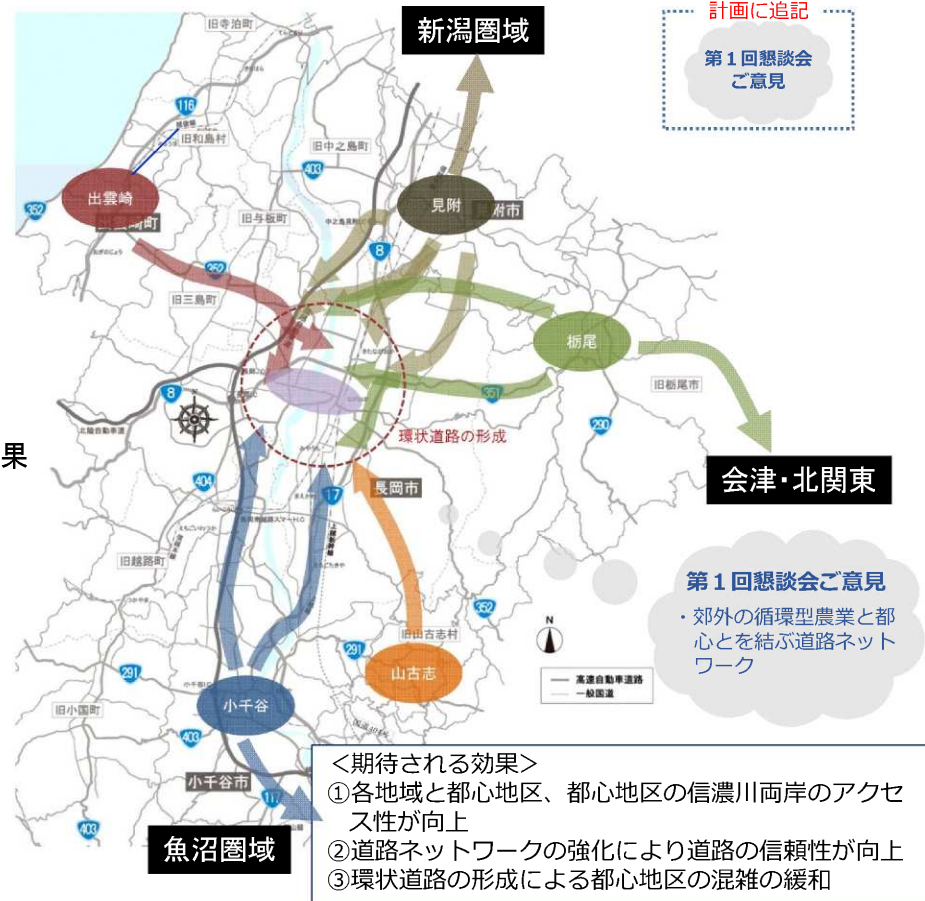


図 長岡市 見附市 小千谷市 出雲崎市の道路計画概要、資料：長岡都市圏交通円滑化総合計画（平成27年3月）

（４）新潟県の観光推進計画（新潟県観光立県推進行動計画 ～うまさぎっしり・魅せる新潟アクションプラン～）

■課 題

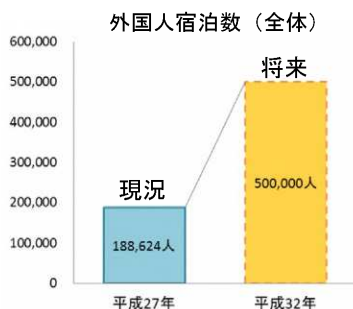
- ・観光の魅力づくり
- ・観光旅行者の受入体制の充実
- ・誘客宣伝活動の強化
- ・広域観光連携の推進
- ・観光情報の受発信環境の充実・活用
- ・外国人旅行者、コンベンションを中心としたMICEの誘致

■目指すべき姿

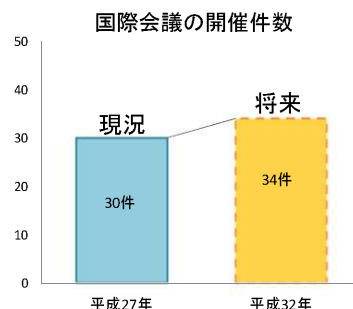
- ・より長く滞在してもらう、より多くの観光旅行者から何度も訪れてもらう。

●行動計画の数値目標

「観光旅行者の満足度を高める」「より多くの観光旅行者から何度も訪れてもらう」「より長く滞在してもらう」との観点から、数値目標を設定。



※外国人宿泊数調査（新潟県調査）「県内の宿泊施設に宿泊した外国人延べ宿泊数」による。



※国際会議統計（日本政府観光局（JNTO）調査）「国際会議開催件数」による。

■ 現況（直近実績値）

■ 将来（数値目標）

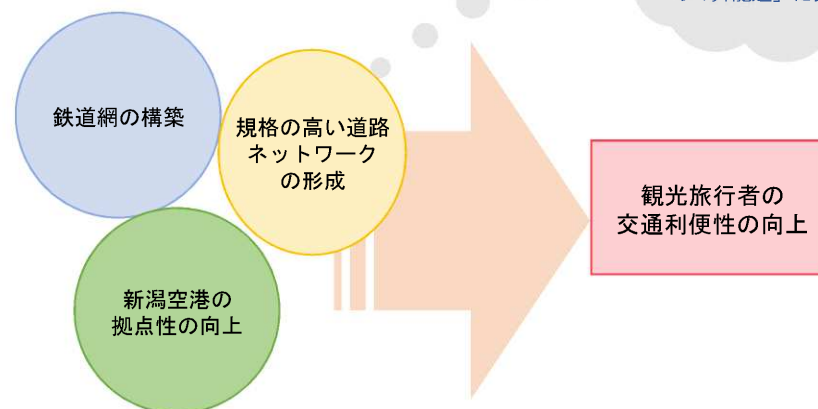
新潟県観光立県推進行動計画よりインバウンドに関係する代表指標「外国人宿泊数」、「国際会議の開催件数」を抽出した。

資料：新潟県観光立県推進行動計画（H29年3月）より作成

計画に追記

第1回懇談会
ご意見

●観光基盤の整備のための施策



第1回懇談会ご意見

- ・中国圏、東南アジアをターゲットとした中部・北陸の「昇龍道」に習う

県が取り組むもの
○県内各地域及び隣接各県との結びつきを強めるための鉄道網の構築、高速道路の整備など規格の高い道路ネットワークの形成、新潟空港の拠点性の向上、LCC（格安航空会社）誘致など交通機能の充実に向けた取組
○鉄道各社における観光列車の活用・PR等、観光需要の創出
○新幹線駅などからの観光地への二次交通の充実への支援
○観光旅行者を観光地へ円滑に誘導するためのわかりやすい案内表示整備等を支援

県がコーディネートするもの
○佐渡・粟島航路の活性化など、各種交通機能の充実に向けた取組
○マイカーやツアーバス的高速道路等の利用の拡大や利便性向上の取組
○鉄道駅、港湾、空港等から観光地への利便性向上に向け、旅行者のニーズを捉えた公共交通機関、シャトルバス、レンタカー、乗り合いタクシー、レンタサイクル等の交通手段の充実

1 関連計画について（国際物流）

（５）海外との物流促進（北陸港湾空港ビジョン）

■課題

- ・日本海側のゲートウェイ機能の充実
- ・産業競争力を確保するための効率的な物流ネットワークの構築

■目指すべき姿

- ・国際物流ネットワークの拡充による国際競争力の強化、日本海交流軸の拠点機能の拡充、海上交通の利便性の向上、産業活動の支援と活性化



資料：新潟港湾空港事務所HP



追記

- ※1：ワニノ〜タイシエツ間鉄道輸送
- ※2：シベリア横断鉄道輸送（沿海地方港湾〜ロシア国内/欧州/中央アジア/アフガニスタン）
- ※3：黒龍江省〜綏芬河〜ウラジオストク/ナホトカ
- ※4：吉林省〜図們江地域港湾（羅津/ザルビノ/ボシエツト）

図 北陸地方の基幹航路を中心とした国際物流ネットワークの将来像
資料：北陸港湾・空港ビジョン（H17年2月、北陸地方整備局）

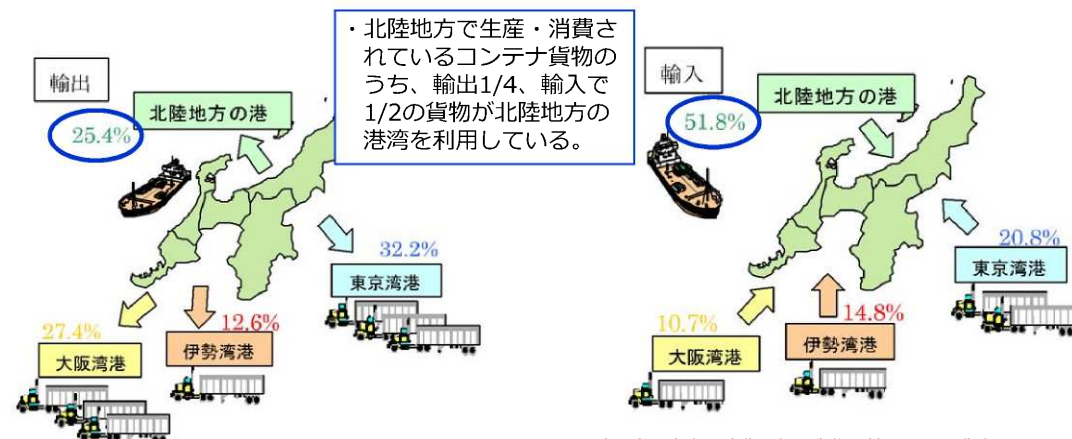
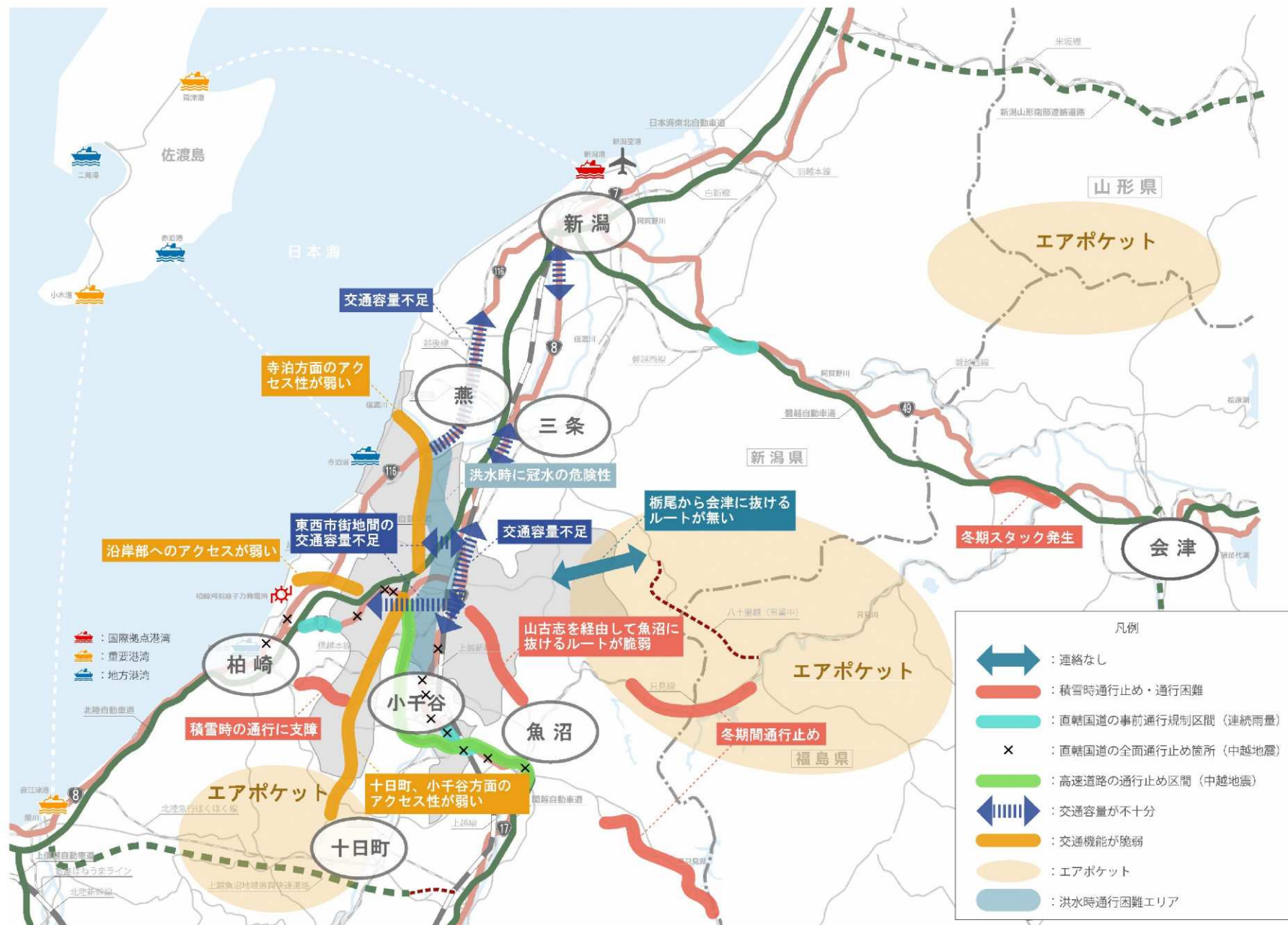


図 北陸地方で生産・消費される貨物の輸出入利用港湾
資料：北陸港湾・空港ビジョン（H17年2月、北陸地方整備局）



計画名	長岡市総合計画	長岡市都市計画マスタープラン	長岡市地域防災計画																
策定主体	長岡市	長岡市	長岡市防災会議																
策定年月	平成28年3月	平成22年11月策定、平成29年3月改定	昭和41年1月作成、平成26年2月修正																
計画の位置づけ性格	長期的・総合的な展望に立った市政運営の基本構想であり、市のあらゆる計画の最上位に位置づけられる。	都市計画法第18条の2に定める「市町村の都市計画に関する基本的な方針」であり、概ね20年後の都市の姿を見据えつつ、実現可能な10年間の都市づくりの方針を総合的・体系的に示すもの。	災害対策基本法(昭和36年法律第223号)第42条の規定に基づき長岡市防災会議が策定した計画。 風水害、雪害、震災、津波および原子力災害等の対策に関し、総合的かつ基本的な性格を有するもの。																
目標年次と目指す目標	<div><div>〔目標年次〕平成37年度(平成28年度～平成37年度)</div><div>〔将来像〕前より前へ！志を未来に活かし輝き続けるまち 将来像実現のための6つの政策</div></div> <table><tr><td>政策1 協働によるまちづくり</td><td>市民力と地域力を活かして、新たな価値や活力を生み出すまちづくりを目指します。</td></tr><tr><td>政策2 人材育成</td><td>子育て支援や教育の充実、市民主体の文化・スポーツ活動への支援などにより、長岡への愛着と誇りを持った人材の育成を目指します。</td></tr><tr><td>政策3 さらなる産業の活性化</td><td>地元企業・地場産業への応援と、新たな雇用と産業の創出により、若々しく成長力のあるまちづくりを目指します。</td></tr><tr><td>政策4 暮らしの安心と活力</td><td>市民の誰もが、健やかで元気に、安全で安心に暮らせて、活力が持てる地域社会づくりを目指します。</td></tr><tr><td>政策5 都市環境の充実</td><td>豊かな自然とまちの魅力が共生し、暮らしやすく、快適で環境にやさしいまちづくりを目指します。</td></tr><tr><td>政策6 魅力創造・発信</td><td>地域資源の掘り起こしや磨き上げを行うとともに、国内外に向けた魅力の発信や交流の促進により、「長岡ファン」の拡大を目指します。</td></tr></table>	政策1 協働によるまちづくり	市民力と地域力を活かして、新たな価値や活力を生み出すまちづくりを目指します。	政策2 人材育成	子育て支援や教育の充実、市民主体の文化・スポーツ活動への支援などにより、長岡への愛着と誇りを持った人材の育成を目指します。	政策3 さらなる産業の活性化	地元企業・地場産業への応援と、新たな雇用と産業の創出により、若々しく成長力のあるまちづくりを目指します。	政策4 暮らしの安心と活力	市民の誰もが、健やかで元気に、安全で安心に暮らせて、活力が持てる地域社会づくりを目指します。	政策5 都市環境の充実	豊かな自然とまちの魅力が共生し、暮らしやすく、快適で環境にやさしいまちづくりを目指します。	政策6 魅力創造・発信	地域資源の掘り起こしや磨き上げを行うとともに、国内外に向けた魅力の発信や交流の促進により、「長岡ファン」の拡大を目指します。	<div><div>〔目標年次〕平成31年度(平成22年度～平成31年度)</div><div>〔理念〕コンパクトに 絆でつなぐ まちとまち 長岡 将来都市像の実現に向けた 都市づくりの“3つのポイント”</div></div> <div><div>point1</div><div>都市の活力を生み出し、地域生活を支える「都心地区」及び「地域拠点」を形成し、相互を円滑で便利な幹線道路及び公共交通網で結ぶ</div></div> <div><div>point2</div><div>市街地を適正な規模にとどめ、既成市街地を有効に活用し、人口密度を維持する。</div></div> <div><div>point3</div><div>環境への負荷を軽減するとともに、市民が安全に安心して暮らせる生活空間を創る</div></div>	<div><div>〔目標年次〕—</div><div>〔理念〕日本一災害に強い都市(まち)づくり 長岡市防災体制強化の指針 5つの柱</div></div> <div><div>1 災害予防と減災対策</div><div>事前の準備と適切な災害対応が重要</div></div> <div><div>2 地域防災力の強化</div><div>多様な災害経路を最大限に生かす</div></div> <div><div>3 災害情報伝達体制の整備</div><div>実効的な防災体制</div></div> <div><div>4 応急対策と避難環境の整備</div><div>確しき安全性を兼ね備えた環境</div></div> <div><div>5 災害対策本部機能の強化</div></div> <div>道路や河川などインフラの整備と、市民力・地域力を最大限に生かした防災への取り組みによる日本一災害に強い都市の実現</div> <tr><td>交通政策 公共交通 道路整備</td><td><div>【交通政策】</div><ul style="list-style-type: none">道路網と公共交通が適切に役割分担し、中越地域の中心として広域かつ高次な都市機能を有する都心地区へのアクセスのほか、市内の地域間や市外とのアクセスにすぐれ、かつ災害に強い「ネットワーク」の構築を進めます。(土地利用基本方針3)交通利便性の高い都心地区及び各地域の中心部等では、医療や福祉、商業など市民生活の利便性を高める機能などがまとまって立地する、持続可能なまちづくりを推進するとともに、市内全域を見据えた公共交通の確保と広域基幹道路体系の整備を進め、市全体の利便性向上を図ります。(施策5)<div>【公共交通】</div><ul style="list-style-type: none">地球温暖化や気候変動への対応、循環型・低炭素型社会の視点からも「コンパクトなまちづくり」と公共交通の利便性の確保を進めます。(土地利用基本方針4)<div>【道路整備】</div><ul style="list-style-type: none">道路や橋りょう、上下水道、河川施設、公共施設などが老朽化してきている現状を踏まえ、社会基盤の健全度を把握するとともに、予防保全など適切な維持管理によって長寿命化を図り、ライフサイクルコストを縮減します。(施策5-3)</td><td><div>【交通政策】</div><ul style="list-style-type: none">自動車交通と公共交通が適切に役割分担した都市交通網の構築に向けて、「道路網の整備」と「公共交通網の整備」2つの視点から、道路・交通体系の方針を示す。<div>【公共交通】</div><ul style="list-style-type: none">「コンパクトなまちづくり」を推進し、高齢社会への対応と環境負荷の低減を図るため、過度な自家用車の利用から公共交通への利用転換を促進します。基幹的なバス路線を維持し、地域内や周辺地域を相互に連絡する路線については、利用実態に応じて効率化を図りつつ生活交通を維持します。都心地区の利便性を高めるバス交通や鉄道駅における交通結節機能の強化、観光交流の促進につながる公共交通など、さまざまな地域交流を図る公共交通網の充実を促進します。公共交通の空白地域については、住民が主体となった公共交通の検討や運営に対して適切な支援を行います。<div>【道路整備】</div><ul style="list-style-type: none">広域的な都市間の交流・連携の促進に向けて、高速道路の積極的な活用とともに、ラダー型広域幹線道路網の整備に取組みます。円滑で安全・安心な交通環境を形成するため、都市内幹線道路網の整備をはじめ、歩行者の安全性に配慮した道路空間づくりに取組みます。効率的かつ効果的に道路網を整備するため、交通需要に合わせた道路計画の見直しや、道路施設の長寿命化に向けた維持・管理に取組みます。</td><td><div>【交通政策】</div><ul style="list-style-type: none">道路管理者は、災害発生時に道路機能を確保するため、災害に対する安全性を備えた道路施設の整備や、迅速に道路情報を収集する体制を整えるとともに、相互協力のもと道路機能確保にあたる体制を整備する。<div>【公共交通】</div><div>—</div><div>【道路整備】</div><ul style="list-style-type: none">道路管理者はその管理する道路について、日常・臨時・定期点検等を行い道路施設の状況を正確に把握し、災害予防のため必要な修繕や施設機能の強化などを実施する。また、道路管理者は被災時の道路機能を維持するため、連携して緊急輸送道路ネットワークの整備等により、代替性(リダンダンシー)が高い道路整備に努める。</td></tr>	交通政策 公共交通 道路整備	<div>【交通政策】</div> <ul style="list-style-type: none">道路網と公共交通が適切に役割分担し、中越地域の中心として広域かつ高次な都市機能を有する都心地区へのアクセスのほか、市内の地域間や市外とのアクセスにすぐれ、かつ災害に強い「ネットワーク」の構築を進めます。(土地利用基本方針3)交通利便性の高い都心地区及び各地域の中心部等では、医療や福祉、商業など市民生活の利便性を高める機能などがまとまって立地する、持続可能なまちづくりを推進するとともに、市内全域を見据えた公共交通の確保と広域基幹道路体系の整備を進め、市全体の利便性向上を図ります。(施策5) <div>【公共交通】</div> <ul style="list-style-type: none">地球温暖化や気候変動への対応、循環型・低炭素型社会の視点からも「コンパクトなまちづくり」と公共交通の利便性の確保を進めます。(土地利用基本方針4) <div>【道路整備】</div> <ul style="list-style-type: none">道路や橋りょう、上下水道、河川施設、公共施設などが老朽化してきている現状を踏まえ、社会基盤の健全度を把握するとともに、予防保全など適切な維持管理によって長寿命化を図り、ライフサイクルコストを縮減します。(施策5-3)	<div>【交通政策】</div> <ul style="list-style-type: none">自動車交通と公共交通が適切に役割分担した都市交通網の構築に向けて、「道路網の整備」と「公共交通網の整備」2つの視点から、道路・交通体系の方針を示す。 <div>【公共交通】</div> <ul style="list-style-type: none">「コンパクトなまちづくり」を推進し、高齢社会への対応と環境負荷の低減を図るため、過度な自家用車の利用から公共交通への利用転換を促進します。基幹的なバス路線を維持し、地域内や周辺地域を相互に連絡する路線については、利用実態に応じて効率化を図りつつ生活交通を維持します。都心地区の利便性を高めるバス交通や鉄道駅における交通結節機能の強化、観光交流の促進につながる公共交通など、さまざまな地域交流を図る公共交通網の充実を促進します。公共交通の空白地域については、住民が主体となった公共交通の検討や運営に対して適切な支援を行います。 <div>【道路整備】</div> <ul style="list-style-type: none">広域的な都市間の交流・連携の促進に向けて、高速道路の積極的な活用とともに、ラダー型広域幹線道路網の整備に取組みます。円滑で安全・安心な交通環境を形成するため、都市内幹線道路網の整備をはじめ、歩行者の安全性に配慮した道路空間づくりに取組みます。効率的かつ効果的に道路網を整備するため、交通需要に合わせた道路計画の見直しや、道路施設の長寿命化に向けた維持・管理に取組みます。	<div>【交通政策】</div> <ul style="list-style-type: none">道路管理者は、災害発生時に道路機能を確保するため、災害に対する安全性を備えた道路施設の整備や、迅速に道路情報を収集する体制を整えるとともに、相互協力のもと道路機能確保にあたる体制を整備する。 <div>【公共交通】</div> <div>—</div> <div>【道路整備】</div> <ul style="list-style-type: none">道路管理者はその管理する道路について、日常・臨時・定期点検等を行い道路施設の状況を正確に把握し、災害予防のため必要な修繕や施設機能の強化などを実施する。また、道路管理者は被災時の道路機能を維持するため、連携して緊急輸送道路ネットワークの整備等により、代替性(リダンダンシー)が高い道路整備に努める。
政策1 協働によるまちづくり	市民力と地域力を活かして、新たな価値や活力を生み出すまちづくりを目指します。																		
政策2 人材育成	子育て支援や教育の充実、市民主体の文化・スポーツ活動への支援などにより、長岡への愛着と誇りを持った人材の育成を目指します。																		
政策3 さらなる産業の活性化	地元企業・地場産業への応援と、新たな雇用と産業の創出により、若々しく成長力のあるまちづくりを目指します。																		
政策4 暮らしの安心と活力	市民の誰もが、健やかで元気に、安全で安心に暮らせて、活力が持てる地域社会づくりを目指します。																		
政策5 都市環境の充実	豊かな自然とまちの魅力が共生し、暮らしやすく、快適で環境にやさしいまちづくりを目指します。																		
政策6 魅力創造・発信	地域資源の掘り起こしや磨き上げを行うとともに、国内外に向けた魅力の発信や交流の促進により、「長岡ファン」の拡大を目指します。																		
交通政策 公共交通 道路整備	<div>【交通政策】</div> <ul style="list-style-type: none">道路網と公共交通が適切に役割分担し、中越地域の中心として広域かつ高次な都市機能を有する都心地区へのアクセスのほか、市内の地域間や市外とのアクセスにすぐれ、かつ災害に強い「ネットワーク」の構築を進めます。(土地利用基本方針3)交通利便性の高い都心地区及び各地域の中心部等では、医療や福祉、商業など市民生活の利便性を高める機能などがまとまって立地する、持続可能なまちづくりを推進するとともに、市内全域を見据えた公共交通の確保と広域基幹道路体系の整備を進め、市全体の利便性向上を図ります。(施策5) <div>【公共交通】</div> <ul style="list-style-type: none">地球温暖化や気候変動への対応、循環型・低炭素型社会の視点からも「コンパクトなまちづくり」と公共交通の利便性の確保を進めます。(土地利用基本方針4) <div>【道路整備】</div> <ul style="list-style-type: none">道路や橋りょう、上下水道、河川施設、公共施設などが老朽化してきている現状を踏まえ、社会基盤の健全度を把握するとともに、予防保全など適切な維持管理によって長寿命化を図り、ライフサイクルコストを縮減します。(施策5-3)	<div>【交通政策】</div> <ul style="list-style-type: none">自動車交通と公共交通が適切に役割分担した都市交通網の構築に向けて、「道路網の整備」と「公共交通網の整備」2つの視点から、道路・交通体系の方針を示す。 <div>【公共交通】</div> <ul style="list-style-type: none">「コンパクトなまちづくり」を推進し、高齢社会への対応と環境負荷の低減を図るため、過度な自家用車の利用から公共交通への利用転換を促進します。基幹的なバス路線を維持し、地域内や周辺地域を相互に連絡する路線については、利用実態に応じて効率化を図りつつ生活交通を維持します。都心地区の利便性を高めるバス交通や鉄道駅における交通結節機能の強化、観光交流の促進につながる公共交通など、さまざまな地域交流を図る公共交通網の充実を促進します。公共交通の空白地域については、住民が主体となった公共交通の検討や運営に対して適切な支援を行います。 <div>【道路整備】</div> <ul style="list-style-type: none">広域的な都市間の交流・連携の促進に向けて、高速道路の積極的な活用とともに、ラダー型広域幹線道路網の整備に取組みます。円滑で安全・安心な交通環境を形成するため、都市内幹線道路網の整備をはじめ、歩行者の安全性に配慮した道路空間づくりに取組みます。効率的かつ効果的に道路網を整備するため、交通需要に合わせた道路計画の見直しや、道路施設の長寿命化に向けた維持・管理に取組みます。	<div>【交通政策】</div> <ul style="list-style-type: none">道路管理者は、災害発生時に道路機能を確保するため、災害に対する安全性を備えた道路施設の整備や、迅速に道路情報を収集する体制を整えるとともに、相互協力のもと道路機能確保にあたる体制を整備する。 <div>【公共交通】</div> <div>—</div> <div>【道路整備】</div> <ul style="list-style-type: none">道路管理者はその管理する道路について、日常・臨時・定期点検等を行い道路施設の状況を正確に把握し、災害予防のため必要な修繕や施設機能の強化などを実施する。また、道路管理者は被災時の道路機能を維持するため、連携して緊急輸送道路ネットワークの整備等により、代替性(リダンダンシー)が高い道路整備に努める。																

計画名	長岡リジュベネーション ～長岡若返り戦略～	中越圏域 広域都市計画マスタープラン	にいがた未来想像プラン
策定主体	長岡市	新潟県	新潟県
策定年月	平成27年10月	平成29年3月	平成30年1月
計画の位置づけ性格	まち・ひと・しごと創生法第10条の規定に基づき策定された総合戦略	上位計画である「21世紀新潟県都市政策ビジョン」の理念・方向性に即して策定され、県が実施するまちづくりや都市計画の基本的な方針を定めるとともに、市町村が策定する都市計画マスタープラン(法第18条の2)の上位計画としても位置付けられる。	<ul style="list-style-type: none"> 将来の目指すべき新潟県の姿を明らかにし、今後の県政運営の総合的・基本的な指針として、県政の各分野のあらゆる計画やビジョンの基本となる、県の最上位の行政計画となるもの。 具体的な施策・事業等の立案・実施に向けて、毎年度の予算編成の基本となるもの。 まち・ひと・しごと創生法第9条に基づく、本県の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」としても位置付ける。
目標年次と目指す目標	<p>〔目標年次〕 平成31年度(平成27年度～平成31年度)</p> <p>〔理念〕 志を未来に活かす、ながおか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦略1 ～若者定着 ・戦略2 ～子育て ・戦略3 ～教育 ・戦略4 ～働く ・戦略5 ～交流 ・戦略6 ～安全安心 ・戦略7 ～連携 	<p>〔目標年次〕 平成42年(平成22年を基準年とし概ね20年後)</p> <p>〔基本理念〕 新潟県の都市計画は、「人口減少」「高齢化」「環境保全」「防災」を重要課題と捉え、今後の都市づくりの共通目標像を持続可能な「コンパクトな都市」づくりとする。</p> <p>〔目標〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「災害の教訓と豊かな資源を活かした交流圏域」 2 高次都市機能の充実による中越都市圏の形成 3 恵まれた広域交通ネットワークを活かした交流の促進 4 地域資源の保全と活用 <p>被災経験を活かした安全・安心に暮らせる都市</p>	<p>〔目標年次〕 平成36年度(平成29年度～平成36年度)</p> <p>〔基本理念〕 命と暮らしが守られ、一人一人が未来への希望を持って自らの幸福を実現できる新潟県を創る～現在と未来への責任を果たす県づくり～</p> <ol style="list-style-type: none"> I 安全で暮らしやすい新潟 II 持続的に発展し賑わいのある豊かな新潟 III 学びやすく、成長・活躍できる新潟 <p>〔将来像〕</p>
交通政策 公共交通 道路整備	<p>【交通政策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関東、北陸、東北を繋ぐ地理的優位性を活かす道路ネットワークを形成します。(戦略5) <p>【公共交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域NPO法人が、中山間地域での公共交通を確保し、併せて買い物支援と高齢者の見守りを実施します。(戦略6) <p>【道路整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の財産である既存インフラ(道路、下水道等)の長寿命化を進めます。(戦略6) 	<p>【交通政策】</p> <p>都市連携・広域交通ネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各都市の個性や特色を活かし、都市間における都市機能の分担・連携を強化していくため、広域交通ネットワークの充実を図る。 ・ 日本海国土軸の強化の観点から、例えば新幹線に接続するフリーゲージトレインなどによる日本海縦貫高速鉄道体系の構築を推進する。 <p>広域的な物流・観光の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本圏域の恵まれた広域交通基盤を活かし、陸上交通の要衝として物流機能をさらに向上するため、長岡北スマートICの整備促進など、アクセス性の向上や圏域を越えた広域連携の強化を図る。 ・ さらに、他圏域や他県との交流を拡大し、地域振興や観光を活性化するため、公共交通の利便性や交通結節機能の向上を図る。 <p>雪や災害に強い道路ネットワークの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第三次救急医療施設である長岡赤十字病院や、各市に立地する病院へのアクセス性の向上を図るとともに、冬期間の円滑な交通の確保、災害時の緊急車両の通行や代替機能確保にも配慮した、広域的な道路ネットワークの整備を図る。 <p>人と地球にやさしい交通体系への転換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者をはじめ全ての人の移動のしやすさに配慮するとともに、過度に自動車に依存しない、人と地球環境にやさしい交通体系への転換を図る。 ・ 鉄道駅やパークアンドライド施設などの交通結節点の整備や公共交通サービスの強化により、公共交通の利用を促進する。 ・ 街では、交通混雑を緩和するため、効率的で効果的な道路ネットワークの整備や、歩行者及び自転車が安心して移動できる環境整備を推進する。また、パークアンドライドなどの交通需要マネジメント施策を推進する。 <p>【公共交通】 —</p> <p>【道路整備】 —</p>	<p>【交通政策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ セールス活動の強化等による利用拡大を図るとともに、既存の基盤も活かしつつ、施設相互の連携性も高めながら機能強化を図ることで、鉄道網・空路・航路・高速道路網等のサービスの一層の充実につなげ、あわせて、大規模災害時のリダンダンシー(代替機能)確保の観点からも、日本海側における本県の更なる拠点性向上を実現する。 ・ 鉄道、路線バス、離島航路等について、観光と連携した利用促進や、路線等の維持・活性化に向けた支援に取り組むことで、地域を支えるとともに、地域の特性も踏まえた使いやすい公共交通ネットワークの維持・充実を図る。 <p>【公共交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活交通路線として住民の生活に必要な路線を維持するため、国とともに乗合バス事業者の広域的・幹線的なバス路線の運行を支援するほか、市町村が行う準広域的・準幹線的なバス路線や県内高速バス路線の運行、コミュニティバス・デマンド交通の導入などの取組等を支援する。 <p>【道路整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本海国土軸を強化し、全国的な大規模災害発生時の物資輸送や災害対応への支援のため、ミッシングリンク(P10(注2)参照)となっている日本海沿岸東北自動車道の早期全線供用と、日本海側と太平洋側を結ぶ暫定2車線区間となっている磐越自動車道、上信越自動車道の早期4車線化整備を促進する。 ・ 高速道路網を補完し、地域間相互の交流・連携を促進する地域高規格道路や直轄国道において、安全・安心を確保するため、道路ネットワーク整備や防災対策等を促進する。

計画名	東北圏広域地方計画	国土のグランドデザイン2050～対流促進型国土の形成～	国土形成計画(全国計画)
策定主体	国土交通省	国土交通省	国土交通省
策定年月	平成28年3月	平成26年7月	平成27年8月
計画の位置づけ性格	「国土形成計画(全国計画)の基本的方針に基づき、東北圏の地域特性を踏まえながら特色のある地域戦略を描くため、経済団体、地方公共団体、国の地方支分部局が協議を行った上で策定した計画。	急速に進む人口減少や巨大災害の切迫等、国土形成計画(平成20(2008)年閣議決定)策定後の国土を巡る大きな状況の変化や危機感を共有しつつ、2050年を見据えた、国土づくりの理念や考え方を示すもの。	「国土のグランドデザイン2050」等を踏まえて、急激な人口減少、巨大災害の切迫等、国土に係る状況の大きな変化に対応した、平成27年から概ね10年間の国土づくりの方向性を定めるもの。国土に関わる幅広い分野の政策について、長期を見通して、統一性を持った方向付けを行い、目指すべき国づくりを推進する。
目標年次と目指す目標	<p>【目標年次】 2025年(計画期間:2015年から2025年)</p> <p>【将来像】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本海・太平洋2面活用による国際競争力の強化 新産業の創出と農林水産業の高付加価値化による雇用の確保 東北圏の資源を活かした広域観光の推進に 	<p>【目標年次】 2050年</p> <p>【目標】</p> <p>目指すべき国土の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球表面の実物空間(「2次元的空間」)と知識・情報空間が融合した、いわば「3次元的空間」 数多くの小さな対流が創発を生み出し、大きな対流へとつながっていく、「対流促進型国土」 	<p>【目標年次】 2025年(2015年～2025年)</p> <p>【目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①安全で、豊かさを実感することのできる国 ②経済成長を続ける活力ある国 ③国際社会の中で存在感を発揮する国
交通政策 公共交通 道路整備	<p>【交通政策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本海側におけるミッシングリンクの解消、太平洋沿岸における各地域間の連絡性を高める「復興道路」及び太平洋沿岸と内陸部を結ぶ「復興支援道路」、沿岸部の鉄道復旧の推進等により交通ネットワークの代替性・多重性を備えた国土の構築 中小都市と農山漁村を維持・保全するために、「都市機能のコンパクト化と都市間・農山漁村を結ぶネットワーク」の整備と併せて、一定のサービス機能を集約した「小さな拠点」を形成 <p>【公共交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民の移動を確保するため、地域住民やNPO等の多様な主体の連携によるデマンド型乗合タクシー179等の導入 スクールバスへの相乗り、スクールバスの空き時間を利用した循環バスとしての運行、隣接市町村間におけるコミュニティバスの相互乗り入れ 「道の駅」や診療所等の地域のコミュニティを交通拠点として形成 <p>【道路整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本海側における高速道路を始めとした高規格幹線道路等のミッシングリンク102の解消 太平洋沿岸部における各地域間の連絡性を高める「復興道路」及び太平洋沿岸部と内陸部を結ぶ「復興支援道路」等の整備 基幹的な交通施設の耐震化 道路法面への避難路の設置や緊急避難場所としての活用を進めるほか、「道の駅」、主要なサービスエリア及びパーキングエリアに非常電源や災害時トイレ等を設置し、交通施設への防災機能の付加を推進する。 一般国道等の冬期通行不能区間の解消 土地利用との整合を図ったバイパスや環状道路の整備、交差点の改良等 	<p>【交通政策】</p> <p>日本海・太平洋2面活用型国土と圏域間対流の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> グローバル化の進展による我が国国土の地政学上の位置付けの変化、災害に強い国土づくりの観点から、諸機能が集中している太平洋側だけでなく日本海側も重視し、双方の連携を強化する  <p>【公共交通】</p> <p>—</p> <p>【道路整備】</p> <p>—</p>	<p>【交通政策】</p> <p>地域間の対流を促進する国土幹線交通体系の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路、鉄道、港湾、空港等がそれぞれの特性に応じて役割分担し、有機的かつ効率的な交通ネットワークを形成する総合的な交通体系を整備する。 なお、交通基盤施設の耐震性強化、無電柱化の推進等を図るとともに、これらを有機的に結節することでネットワーク性を強化し、地域相互間の安定的で安全な対流を促進する。 <p>地域交通体系の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 急激な人口減少、高齢化の進展、地方から東京圏への人口流入、クルマ社会の進展等により、地域の生活の足の確保が大きな課題となる中で、地域にとって最適な公共交通ネットワークの実現を強力に推進するため、地方公共団体が中心となって、土地利用等の都市計画等と連携し、小さな拠点、コンパクトシティ、連携中枢都市圏等の形成にも資するよう、交通ネットワークの再構築を図る。 地域が有する資源や魅力を活かし、生産、物流、観光等の経済活動を支援するため、経済や生活の拠点となる都市間を結ぶ幹線交通ネットワークの強化等、地域の活性化を支援する交通体系の整備に取り組む。 あわせて、中心市街地等の「まちなか」において、歩行空間の確保、バリアフリー対策等を十分に講じることにより、人が主役となる交通環境の提供を推進する。 また、集落地域等において、高齢者等の移動制約者のモビリティ、医療機関へのアクセス確保等の生活機能維持のための交通ネットワークの充実、強化を図る。 <p>【公共交通】</p> <p>—</p> <p>【道路整備】</p> <p>—</p>